

## いろいろなアプローチによる生分解性樹脂・環境適合材料の生分解性評価 環境適合材料の各種生分解性評価

技術分野分類 4804：高分子・繊維材料

技術キーワード A：高分子材料物性

産業分類 E-18：プラスチック製品製造業

内 容	概 要	プラスチック工業材料として環境適合材料等を用いる場合、それぞれの使用環境中に合った分解性など、幅広い特性が求められる。そこでJIS等の本格的な生分解性試験の前段階として、酵素やコンポスト等での分解挙動を調べ、力学的变化を追跡することで試験環境の最適化を目指している。
	従来技術・競合技術との比較(優位性)	最近、市場に出回りつつある生分解性樹脂・環境適合材料について、環境中の分解性がいくつかの方法で評価されている。これらの評価では、それぞれの樹脂ごとの分解環境による分解速度・挙動の違いが十分に明らかになっていない。
	本技術の有用性	生分解性物質の分解性評価は、いろいろな方法で行われているが、その種類や組成または形状によって、分解挙動や分解速度などが異なっている(表・写真参照)。本シーズでは、その樹脂に求められる環境に合った試験方法を選択することが可能である。
関連情報 (図・表・写真等)		<p><b>生分解性</b></p> <p>Fig. 酵素による生分解テスト</p> <p><b>コンポスト条件下での分解</b></p>
適用可能製品		生分解性樹脂・環境適合材料及びそれらを使用した製品。または、材料中にそれらを部分的に含む材料及び製品。
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	高木 康雄 <sup>1)</sup> 、山岡 充昌 <sup>2)</sup> <sup>1)</sup> 名古屋市工業研究所 材料技術部有機材料研究室 主任研究員 <sup>2)</sup> 名古屋市工業研究所 材料技術部有機材料研究室 研究員
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名古屋市工業研究所 支援総括室 052-661-3161 / 052-654-6788 kikaku@nmiri.city.nagoya.jp

## ■知的財産

## ■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2012年10月31日